

# 富士川

新春特集号

昭和54年1月1日発行

「しましよ」3箇条

1. きれいな町にしましよ。
2. 生活改善を実行しましよ。
3. 明るい選挙を推進しましよ。

富士川町 総務課

## 年頭のあいさつ

あけましておめでとうございます



富士川町長 常葉雅文

昭和54年の輝かしい新春を迎え、謹んで心からお慶びを申しあげます。

日本経済は、円高の影響に悩まされながらも安定成長への兆しをみせはじめています。

昨年は国際的な意義として日中平和条約の締結が実現され、内政にあつては福田内閣から「信頼と合意の政治」の大平内閣へのバトナタッチがあつた年でもありました。

私は昨年6月の町長選挙に際し、町民のみなさんの絶大なご支援を得て第25代町長に当選し、早いもので6ヵ月余りが経ちました。

町民のみなさんのご支援に感謝の意を表わすと同時に、私の念願であります「対立のない和の町政」の実現に向つて当面する諸問題解決に決断と勇気をもって対処してまいりました。信頼に与する町政を推進するにあたり、将来展望を目標しての行政機構改革に着手し



幹部職員の人事異動を実施いたし、円滑なる町政への第一歩を踏み出しました。そして、町議会議員各位はもちろん、町民各階層の絶大なご支援、ご協力によって各種事業の遂行をみてきたのであります。三町ゴミ処理施設建設に着手、第二幼稚園増設、河川敷スポーツ広場の改修工事、町道吉津小山バイパス、上町バイパス新設工事、とくに、東海沖地震説による防災対策の強化がさげばれていると

新しく迎えた昭和54年は、すべての面で転換の年になると考えられます。昨年より引続いておる事業の積極的推進はもちろんでありますが、町の将来を考えると、今年度の郡民の願ひであります、高松設置の促進は、教育環境にふさわしい大築窪への誘致を積極的に働きかける所存です。また、モータリゼーションの発達による、県道富士川身延線のバイパス建設促進については、松野地区の開通を短期間に達成できるよう関係者と共に努力いたすつもりです。私は、私自身に与えた6施策（衆知を集めた町づくりの確立、信頼に与する円滑なる町政、将来展望に立つ機構の改革と施策の実現、教育をのばし文化を育てる、思いやりのある福祉の充実、計画性のある開発と安全な暮らし）の遂行と、近

く答申を得ます基本計画にもとづいた計画的な事業の実施をしていきたいと思つております。すで

に4月からの54年度予算編成に入つておりますが、国や県の施策の動向をふまえ、財政の健全化を図りながらも計画的な教育施設の整備、生活関連道路及び農林道の整備、生活環境の整備、地震防災対策、福祉の充実及び計画的な開発の検討を柱に積極的な予算としたと考えておりますが、どうか町民のみなさんにおかれても現在の厳しい諸情勢をご理解されまして、今まで以上のご協力をお願いする次第であります。

年頭にあたり、健康で明るいご家庭のご多幸をお祈り申し上げますと共に「明るい豊かな住みよい町づくり」を目指して町民のみなさんの英知と行政が一体となって歩むことを念願し、なお一層のご支援とご協力をお願いして、こゝろあ



町立第一小学校にて

# 自画自賛

富士川町議会議長

箕 武 司

「今年こそ……」、「……」の内容こそ違え、こんなお気持ちで新年に相對しておられることと思

います。なにかと忙忙な一年の、この一瞬、これからの人生に「希望」のゆとりを贈ってくれるこの一つの節を「正月」としてともに慶賀する——考えてみれば、まことに意義の深い行事です。

まずは「おめでとう」屠蘇（とそ）を酌（く）みかわそうではありませんか。

さて、富士川町議会を代表してごあいさつするということとなりますと、ここでやはり身がひきしまざるをえません。

皆さんから、「町政参画」を付託された議員18人をもって構成さ



れる議会、その議会を代表する重責から、至極当然、姿勢が正され

ます。「この町に生まれて本当によかつたなあ」とか、「全く暮しよい町ね、いい所だわ」とか、さらに、「富士川町だと言ったら、羨やまし

しがられたよ」「こんな町はない、子や孫のためにも大切にしないといかん」夕食の膳を囲んだそれぞれの家庭で、ときにちりりと口の端にのぼる——こんな富士川町に成長し

てもらいたい、これが、皆さんとともにしたい願望です。さりげなく自然に口をついて出てくるこれらの言葉、これを生むのが「町政」であり、「町政」とはこれ以外のなものでもないで

しょう。わたくしどもは、この「町政」の方向が、妙な角度にそれぬよう皆さんにかわって注意している立場にあり、誓って、尽力しております。

さいわい、新しく迎えた常葉町

長は、歴代町長の郷土を愛する心を心とし、その苦悩も理解されていて、バトンタッチもスムーズに山積している諸問題に取組んでおられ、業績は将来とも評価されると信じさせられます。

わたくしたちの生活にとって、

他に誇れる施設が三つあります。

第一に、豊富な水源を背景にした上水道、第二に、新成の衛生プラント、第三に、55年稼働を目指しすでに着工したゴミ焼却施設、このいずれもが群を抜いた町民の財産といえます。直接的には気がつかぬこれら施設と管理運営にあたる職員、現代的生活を支える要

（かなめ）であり、これら施設のどの一つを欠いても、現在の暮らしは成り立っていかぬ、いわば「住みよい町」の根幹であります。歴代町長の先見の明と完成への努力

補佐の担当職員の労苦にあらためて感謝を述べたいと思います。人材をつくろうと鋭意、教育施設に重点を注いできた町は、新年の課題として、第一中学校特別教室専属校舎の改築を掲げ、さらに

幸町、大楽窪に高校誘致をと大いに働く覚悟を示しており、この地味な四本の基礎の上に「すばらしい富士川町」が築かれていきます

「建設の雄音が聞こえます」以上、わが町の自画自賛を賀詞

といたします。

## パーティー成人式

### 服装は自由でどうぞ

#### 1月7日(日)朝9時開式

#### 町立第小学校体育館で

冷蔵庫のように冷える体育館がながと続く祝辞を聞かされる成人式。そんな成人式のイメージを、今年はガラリと変えました。

ゲーキと熱いコーヒーを前に10人ずつテーブルを囲んでもらいます。町長の式辞だけで、祝辞はすべて、やめてもらいました。顔を出して下さるのが、何よりの祝辞だと思っております。

アトラクションとして、声楽家斉藤定子さん(相生町)に、山田耕柞作曲集から、3〜4曲歌っていただくことになりました。

伴奏は富士市の仲沢裕恵さん(常盤短大ピアノ講師)です。ご期待ください。

それから、一小鈴木先生のアコーディオン伴奏で、各テーブルごとに歌ってもらう計画です。恩師の先生方にも出席をお願いしましたので、恩師を囲んで、校歌の合唱もよし、フォーク。

ダンスを踊ってもよし、成人の喜びを語り合うもよし、自由に楽しんでいただきたいと思

つぱり体育館は寒いので、声を出したり、体を動かしたりしてぜったいに楽しい成人式にしたいと思

11時から、体協主催の各区對抗成人祝賀伝が行われます。役場前を出発、小池、サーピスエリア、もう一度小池、そして

役場へ。12時少し前に終了の予定です。このチームには、成人者が一人は入ることになって

式のご案内をさしあげました。もし、案内状の届かない方、住民登録のない方など、教育委員会へ至急電話でお申し出下さい

(電話 81-1111)